

第3回

みえ森林教育シンポジウム



<メインテーマ>

子どもといっしょに森と出会い、森から学ぶ魅力

2025年2月1日(土) 9:30~16:30

場所：三重県総合文化センター 男女共同参画棟

主催：三重県

子どもたちとともに、身近な木・森・自然から学ぶことの魅力を考えます



～基調講演会～

いのち溢れる森が教えてくれること
～C.W.ニコルが遺した子どもたちの未来～

一般財団法人
C.W.ニコル・アフアの森財団
専務理事 野口 理佐子 氏

C.W.ニコル・アフアの森財団
専務理事の野口理佐子様をお招きし、
アフアの森での38年にわたる
森林再生の活動を基に、
森と私たちとのさまざまなつながりや、子ども
たちが森の中で過ごすことの魅力について
ご講演いただきます。



【お問い合わせ先】 三重県林業研究所普及・森林教育課

電話 059-262-5352 FAX 059-262-0960

メール miefa2@pref.mie.lg.jp



みえ森と緑の県民税

この取組には「みえ森と緑の県民税」が活用されています。

プログラム

※それぞれに定員がございます。事前に参加申込フォームよりお申し込みください。
募集定員になり次第、募集を締め切ります。

<第1部 ワークショップ> [2Fセミナー室A、3Fセミナー室C]

幼児教育・保育セッション

時間：9:30～12:00

会場：2Fセミナー室A

定員：50名（先着順）

テーマ：森と出会い、森で遊び、森で育つ

<モデレーター> 宮里 暁美 氏(お茶の水女子大学 特任教授)



文京区立お茶の水女子大学こども園園長等を経て、2021年4月よりお茶の水女子大学アカデミック・プロダクション寄附講座教授。子どもたちのごくそばで過ごしながら、子どもたちの小さな動きに目をとめ、保育について思いをめぐらしている。

<アドバイザー>

嘉成 永慈 氏(森の風こども園 副園長、森の風しぜん学校 代表)



参加申込フォーム

学校教育セッション

時間：9:30～12:00

会場：3Fセミナー室C

定員：50名（先着順）

テーマ：学校と地域のより良い連携に向けて

<モデレーター> 高田 研 氏(地球温暖化防止全国ネット理事長)



小中公立学校教員を務めた後、岐阜県立森林文化アカデミーを経て、都留文科大学に着任、2023年退職。林野庁の森林環境教育の委員会において、その定義作りから普及啓発までを行ったほか、徳島県内の複数高校で15年間、参加型の授業改革支援を続けている。

<アドバイザー>

佐藤 洋 氏(山梨県都留市ネイチャーセンター博物館 学芸員)

谷本 博史 氏(三重県教育委員会事務局 小中学校教育課 班長)



参加申込フォーム

※ワークショップでは、県内の事例発表のあと、参加者の皆様を交えた意見交換を行います。

<第2部 ステージプレゼンテーション> [1F多目的ホール]

表彰式、基調講演会、トークセッション

13:00～ 開会

13:05～ 第11回みえの森フォトコンテスト表彰式

13:25～ 基調講演会「いのち溢れる森が教えてくれること ～C.W.ニコルが遺した子どもたちの未来～」
一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団 専務理事 野口 理佐子 氏



大学卒業後NTTに入社。企画広報業務を経て、大規模な公共事業開発が進む中、小笠原空港建設問題をきっかけに環境問題に目覚め、1994年に環境問題の解決を仕事にすることをモットーに有限会社カルティベイトカンパニーを設立。環境プランニング、コーディネート業務を行う中、C.W.ニコルと出会う。ニコルが個人で森の再生を行っていたアフアの森を永遠の森にするための相談を受け、2002年財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団の設立業務を手がける。以後運営理事として活動。2011年より理事・事務局長、2020年より専務理事。麻布大学生命・環境科学部環境科学科 非常勤講師（2005年～2016年）。

14:45～ トークセッション「子どもといっしょに森と出会い、森から学ぶ魅力」

<パネリスト>

大西 義孝 氏 (津市立家城小学校 教頭)



公立中学校教諭、津市教育委員会事務局人権教育課、津市立川口小学校教頭を経て現在に至る。教頭職をしながら、昨年度から5年生の社会科も担当。日々、授業改革と仲間づくりの観点から、“子どもたちが主体となって考える学び”を研究している。

佐藤 洋 氏 (山梨県都留市ネイチャーセンター博物館 学芸員)



県内外の幼児期や青年期の子どもたちを森に招き入れ、年齢や課題にあわせた「生きる力」を育むプログラムを展開。森や木々の見立てから伐採、搬出、製材など、プロセス重視の活動を得意とする。保育者など大人向けの研修も幅広く企画・実践している。

<コーディネーター> 長野 麻子 氏 (株式会社モリアゲ 代表)



東京大学文学部フランス文学科卒、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間、林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で呼び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲを設立し、森林業コンサルタントとして全国の森をモリアゲ中。

16:30 閉会

嘉成 永慈 氏 (森の風こども園 副園長、森の風しぜん学校 代表)



森の風こども園で年長児を担当。休日は小学生のプログラム「森の風しぜん学校」で山、里、海の様々なフィールドで活動。2016年から野外体験保育アドバイザーとして野外保育を普及、現在は森林教育アドバイザーとして子どもと自然を繋ぐ保育を実践している。

堀内 楓子 氏 (叶林業合名会社、LEAFローカルインストラクター)



2012年に家業である叶林業合名会社（松阪市飯高町）に就業。2016年より松阪市内の小学校を中心に森林散策、出前授業、クラフト等、幅広く森林教育に取り組む。五感を使って体験することを大切に、森林や木に親しみを感じてもらえるよう内容を工夫している。

定員：300名
(先着順)



参加申込フォーム

※予告なく内容を変更する場合があります。

※第1部、第2部ともに事前申込が必要ですが、第2部は、席に余裕がある場合は当日参加も可能です。